



近畿支部会報2022年8月号

支部長 Ak

八月はご先祖の精霊――。‘おしよらいさん‘が家に戻ってくるお盆の月です。家庭では、ご飯やお餅を供えて‘おしよらいさん‘をもてなします。十六日の夜には京都を囲む五つの山に火を焚いて、京都中の精霊をいっせいに浄土へと送るそうです。東の大文字から妙法、船形、左大文字、鳥居形と、火は西へ西へとつながれて西方浄土へ帰る‘おしよらいさん‘を照らしています。

佛教学の八木透先生の京都五山送り火の歴史と民族の話を聞きました。五山の送り火には3つの説があります。①平安時代（弘法大師創始説） ②室町時代（足利8代将軍足利義政創始説）24歳で亡くなった義尚の菩提を弔うために相国寺の和尚に頼んで作らせた説。大文字は相国寺と室町御所を向いている。③江戸時代初期『慶長日件録』に出てくる。15世紀の応仁の乱以後には、各地で松明を点す「万灯籠」は行われていた。それが遠方からも見えるように地面に火床を作って点火するという新たな転換が行われ、17世紀にはそれが年中行事として定着した。京都のお盆は、精霊迎えは、8月7日～10日東山の六道珍皇寺・千本えんま堂での六道参り。精霊送りは、8月16日 大文字を臨みながら盆の供物を川に流す。地元住民にとっての送り火は護摩木・消し炭などに対する厚い信仰があります。3年ぶりの全部の点灯は、住民が心から願っていたことでしょう。

今回の会報は、次の内容でお届けします。

1. 例会報告	熊取町	My
2. Anachan		
日本に避難した事情		HA
Anachan と W さんを迎えて	舞鶴市	Y.K.
Anachan を迎えて	京都市	Kk
3. 例会案内	草津市	Nn
4. お知らせとお願い	支部長	Ak

1. 例会報告

熊取町 My

Zoom オンラインミーティング

日時：8月14日午後4時～

参加者：10名(敬称略)

Mt Wh Kj

Anachan

Ht Hs On

At Ak My



会員の自己紹介から始まり Anachan のお話がありました。会員は夫々自分が住んでいる所を紹介、Hさんは自宅近くの正覚庵の筆供養を映像を交えて紹介されました。そして、皆異口

同音に「是非お出で下さい」とお誘いしました。又、ダンスの上手な会員はダンスパーティに招待しました。Oさんは今イタリアにいられて、私たちは夕方ですが、イタリアは朝、お友達とハイキングに行くために巻き寿司を作るお忙しい時に参加して下さいました。後半、外国の事情に詳しい会員より、中国、上海の経済情報をお聞きして、大変勉強になりました。

近畿支部 zoom 会議に参加し、皆様のお顔を拝顔できた事、本当に嬉しかったです。ありがとうございました。特に、Anachan とは NHK の TV を見てから一度お会いしたいと考えていましたので、本当にラッキーでした。絞りの浴衣がよく似合っているのに感服しました。現在、三味線を習われているそうです。発表会が楽しみです。四国のお遍路さんにも挑戦したいとのことでした。寿司が大好きだそうで、我々日本人よりも日本人らしいと言っても過言ではないでしょう。

サーバスは 1949 年に第 2 次世界大戦後、デンマークの Folk High school に参加していたアメリカ人の Bob Lutweiler さんが平和を求めあう志を持つ人々と知り合うという趣旨から国際親善、異文化交流、相互寛容、世界平和を目標に作られたものです。

ロシアによるウクライナ軍事侵攻の様子をテレビの画面を通じて見るたびに心が痛みます。このような状況下にあって、ウクライナから避難されてこられた Anachan をホストされた W 様には心から感謝します。

<支部長 Ak より>

9 月の国連平和の日の前後に近畿支部はいつも平和の取り組みをしていますが、今年はコロナ禍で会場での取り組みは難しいと思って、Anachan と会員の交流を通して「世界平和」を考えようと今回の例会を企画しました。

2.Anachan

日本に避難した事情

HA

Anachan がウクライナから日本に避難して来られた時の様子を書いていただきました。(Ak)
My name is H A, I am a Servas member from Ukraine. In march I had to leave my beloved country as it was not safe anymore. This is my story..

Before the war I i used to live in a historical city called Lviv, which is located in Western Part of Ukraine.

24th of February 5 in the morning my aunt entered my room and said – «Get up! the war has begun». These words changed my life forever. My peaceful country was being bombed. My city was being bombed. Right now, in this very moment. For me the time has stopped on February 24th.

My city was damaged by missile but because we are quite far from the Russian border it didn't suffer as much as Mariupol or Kharkiv. We had air alarms every day and night, sometimes



more than 10 per day. It was a blessing when you could sleep at least for a few hours in between the alarms. But even in that case I couldn't sleep at all. I couldn't eat either because of the stress. I constantly worried about my family, my friends. I worried that I would not be able to save them when the time comes. My family's apartment was in a tall 8ght story building on the 6th floor. It is extremely close to the airport which was considered dangerous due to fact that Putin's army was deliberately bombing infrastructure and civilian housing. But the worst thing was that we could not hide in the cellar or bombing shelter as there was none. Our basement was above the ground level and was considered too dangerous because if the building would collapse, it would just kill everyone hiding in it.

I left my city on 1st of March, crossed the border to Poland on the 2nd. My city is not far from the Polish border but there was a big queue of people who wanted to leave so it took around 7 hours to finally enter Poland. There i stayed at a friend's house for some time, I kept crying day and night because I was of no help to my family and my country. I felt powerless and useless. I tried to find a job but there was almost no job available - everything was taken by the Ukrainians who arrived earlier. That was the reason I decided to go to Germany. I arrived in Berlin on 7th of April. The train I had to take was fully packed by Ukrainian people sitting and standing everywhere. This was heartbreaking!

After arriving to Germany, I saw same situation on the job market, even worse. I felt extremely desperate. During this time, out from nowhere, a friend from Japan, a Servas member from Kyoto, W H, sent me a message saying that if i need I can come to her and stay as long as i need so I decided to evacuate to Japan. I received a visa at the Japanese embassy on April 1st, I bought a ticket and on 16th of April i arrived to Narita airport.

When I arrived to Japan, my every step was supported by members of the Servas Kinki Group (Japan). Finally, I was safe and surrounded by people who welcomed me into Japan with open arms and were helping to get used to my new life in a new country. The first month was the



hardest for me but thanks to W san and Servas Kinki group members I kept going, kept moving on. I felt that I was not alone anymore. I felt the unity of people. I felt support from people, some of whom didn't even know me and yet were there to help me. And for this I will be forever grateful.

Thank you!

Anachan と W さんを迎えて

舞鶴市 Y.K.

久々のお客様とあって、Anachan と W さんが来られる 3 日ほど前から主人と二人で家中大掃除。ピカピカに磨いて自信を持って泊まっていただけそうな予感。喜んでもらえそうな予感。

お待ちかねのお客様、お昼頃到着されました。

まずは、お昼ご飯を食べに町のレストランへ。W さん、早速ビールを注文し美味しそう。車の運転がなければ私も飲みたい！ 店の雰囲気も食事も気に入ってもらえてよかったです。



そして、町で一番大きな商業施設へ Anachan の水着とビーチサンダル、W さんのビーチサンダルを買いに行きました。水着もビーチサンダルも売っている数が少なくてびっくり。でも、何とか買うことができました。

さて、いよいよ、みんなで海水浴へ。Anachan、W さん、主人と私の 4 人、テントと組み立て椅子、ブルーシート、お茶やスイカを入れたクーラーボックスを積んで、車 2 台で福井県の海水浴場へいざ出発！



私も久しぶりの海水浴でワクワク。民宿をやっている親戚の家の駐車場に車を置かせてもらい、皆で砂浜へ。浜には 4,5 組のグループがいるだけ。

4 人で、テントを立て、椅子を組み立て、海水浴開始。

私は、海につかりたくてたまらず、すぐ泳ぎに海へ。しばらく日光浴をしていた主人も海へ潜りました。幸いクラゲがいなくてよかった。Anachan も海で泳ぎました。

日暮れ前まで皆で日光浴、おしゃべり、スイカを食べたり、楽しく時間を過ごすことができました。主人が海に潜って獲った貝殻を Anachan に渡したり、W さんと海に足をつけながら、おしゃべりしたり、なんて気持ちのいい

時間だろうと思いました。

海から引きあげて、Anachan と私は、親戚の家で、シャワーを浴びさせてもらいました。親戚のおばちゃんと私達、しばしおしゃべりしました。ウクライナの人だと、おばちゃんに Anachan を紹介すると、「こわい思いしてきたんやな」とおばちゃん。

夜は、家に帰って焼き肉をしました。海水浴といえば、焼き肉かなと思って。

舞鶴名産「万願寺とうがらし」など野菜も焼いて、焼き肉を食べ、ビールを飲み、至福の時。

食後は、私がクリームソーダを作って、飲んでもらいました。

Anachan は、もの静かだけど、とても頭の良さそうな、何か秘めたものを感じました。そして、ほんとに日本が、京都が好きだななんだなと思いました。

京都、着物、舞妓、古い日本家屋が好きで、御朱印も集められている。私ももう少し日本の文化に興味を持たなければ…と思いました。

Anachan にウクライナのこと、もっと聞きたかったなと後悔。

翌朝、朝食前に、家の近くにある松尾寺という西国三十三札所の一つに、W さん運転で、W さん、Anachan、

私の三人でお参り。Anachan は御朱印をもらいました。帰って朝食を食べて、二人は天橋立へ行かれました。

いい夏の思い出が出来ました。

Anachan を迎えて

京都市 Kk

三年ぶりの京都の五山の送り火、お盆の最終日 8月16日の夜、8時点火。今年はサーバスのメンバーを迎えて楽しい大文字パーティとなりました。ウクライナのAnachan、サポート役のWさん、下諏訪からKさんを迎えて賑やかに！お昼間に、Kさんと私は、大



文字の麓まで 大文字に燃やされる松ノ木の割り木の護摩木にお願い事を書いて奉納し、送り火に燃やしていただきました。点火直前の7時頃には雷雨と稲光で、土砂降りの雨となり、心配しながら点火時刻を待ちました。午後8時、点火の10分前には幸い雨はピタリとやみました。皆でベランダで今か今かと点火を待ちましたが、8時を過ぎても全く大の字は出なく、ダメなのかと大騒ぎ。他の妙法はついているのかと、妙法に見える場所へ皆で移動して観に行くも、真っ暗でついていない。がっかりして部屋に戻ると、暗闇にくっきりと綺麗な大の字が明々と燃えています。皆で歓声をあげて、感動の大文字を見ました！そのあとには妙法も燃え出し、くっきりと松ヶ崎の山に「妙」と「法」が明々と浮かびました。今年ドキドキ、はらはらの感動の大文字送り火の夜でした。ご先祖様や、身近で亡くなった人の事を祈り、ウクライナが一日も早く平和になりますようにと祈りました！

文字の麓まで 大文字に燃やされる松ノ木の割り木の護摩木にお願い事を書いて奉納し、送り火に燃やしていただきました。点火直前の7時頃には雷雨と稲光で、土砂降りの雨となり、心配しながら点火時刻を待ちました。午後8時、点火の10分前には幸い雨はピタリとやみました。皆でベランダで今か今かと点火を待ちましたが、8時を過ぎても全く大の字は出なく、ダメな

のかと大騒ぎ。他の妙法はついているのかと、妙法に見える場所へ皆で移動して観に行くも、真っ暗でついていない。がっかりして部屋に戻ると、暗闇にくっきりと綺麗な大の字が明々と燃えています。皆で歓声をあげて、感動の大文字を見ました！そのあとには妙法も燃え出し、くっきりと松ヶ崎の山に「妙」と「法」が明々と浮かびました。今年ドキドキ、はらはらの感動の大文字送り火の夜でした。ご先祖様や、身近で亡くなった人の事を祈り、ウクライナが一日も早く平和になりますようにと祈りました！

3. 例会案内

草津市 Nn

滋賀県石山寺と楽しいランチと寿長生の郷散策を計画しました。みなさん秋の一日を一緒に楽しみませんか？お友達を誘ってのご参加をお待ちしています。

10月15日（土）集合：JR石山駅北口 午前10時

（JR石山駅の改札口は2階にあり、改札口を出て北側の階段を降りた所です。）

10:00～12:00 車に乗り合わせて石山寺へ、着後石山寺を自由散策（ホームページで見たい所を探して下さい。拝観料等は各自払い）

[大本山 石山寺 公式ホームページ \(ishiyamadera.or.jp\)](http://ishiyamadera.or.jp)

<https://www.ishiyamadera.or.jp/>

12:00～14:00 車に乗り合わせて会員S様宅へ、昼食（600円）

14:00～16:00頃 車に乗り合わせて寿長井の郷（すないのさと）へ、着後寿長井の郷を自由散策（散策もよし食べるもよし、ホームページでしたい事を見つけて下さい。）



[寿長生の郷 TOP | 叶 匠壽庵 \(kanou.com\)](#)

<https://kanou.com/gnaviplus/sunainosato/>

16:00 頃：車に乗り合わせて JR 石山駅へ、着後解散

4. お知らせとお願い

支部長 Ak

*住所、電話、メールアドレス等変更がありましたら支部長までお知らせください。

...